

プログラム 9月24日(日) 大ホール

9:00～10:00

特別講演 「『自殺予防事始』—創立者としての E.リングエルと増田陸郎」

演者 齋藤友紀雄（日本自殺予防学会理事長、青少年健康センター会長、日本いのちの電話連盟理事）

座長 高橋祥友（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学）

10:00～11:30

シンポジウムV 「日本自殺予防学会の歴史と法人化後の展望」

座長 河西千秋（札幌医科大学神経精神医学講座）

大塚耕太郎（岩手医科大学医学部神経精神科学講座）

SV-1 「わが国の自殺予防における稲村博先生の貢献」

齋藤環（筑波大学医学医療系社会精神保健学）

SV-2 「学会誌「自殺予防と危機介入」の展開」

影山隆之（大分県立看護科学大学看護学部）

SV-3 「学会による地域貢献：学会法人化後の教育・研修事業」

河西千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座）

SV-4 「日本自殺予防学会法人化の経緯と今後の展望」

張賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院精神科）

12:00～13:00 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナーIII 「みんなで考える自殺予防～基本的な考え方と取り組みについて～」

演者 張賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院精神科）

座長 大塚耕太郎（岩手医科大学精神神経科講座）

プログラム 9月24日(日) 大ホール

13:00～16:40

厚生労働省補助事業第42回日本自殺予防シンポジウム(市民公開講座)

「絆でつむぐ自殺予防～つながる・つなげる・つながりあう～」

座長 中込四郎(国士舘大学、茨城いのちの電話)
杉江征(筑波大学人間系心理学域、茨城いのちの電話)

13:50～14:40

第1部 基調講演 「心の絆療法の現代的意義」
高橋祥友(筑波大学医学医療系災害・地域精神医学)

14:50～16:40

第2部 シンポジウム 「絆でつむぐ自殺予防～つながる・つなげる・つながりあう」

「地域における自殺予防対策」

佐川廣子(茨城県精神保健福祉センター)

「自殺未遂者の再企図予防」

山田典子(茨城県立こころの医療センター)

「学校における自殺予防」

守屋英子(茨城大学・茨城県臨床心理士会)

「災害といのちの電話」

佐藤和子(仙台いのちの電話・自死遺族支援わかちあいの集い「すみれの会」)

指定討論：高橋祥友(筑波大学災害・地域精神医学教授)

総合討論

プログラム 9月24日(日) 中会議室201(2階)

9:00～10:00

教育講演Ⅳ 「社会学からみた自殺予防の未来:デュケルム『自殺論』からゴフマンへ」

演者 阪本俊生(南山大学経済学部)

座長 森山花鈴(南山大学法学部)

10:00～12:00

シンポジウムⅣ 「若者の自殺予防と未来」

座長 杉江征(筑波大学人間系心理学域)

太刀川弘和(筑波大学医学医療系精神医学)

SIV-1 「中高生を対象とした自殺予防教育の具体化のために」

阪中順子(加古川市教育委員会青少年育成課教育相談センター)

SIV-2 「インターネットと自殺予防」

伊藤次郎(特定非営利活動法人 OVA 代表)

SIV-3 「YAM プログラムの我が国への適用可能性」

菅原大地(筑波大学大学院)

SIV-4 「大学生の自殺予防」

高野明(東京大学学生相談ネットワーク本部)

12:00～13:00 共催:第一三共株式会社

ランチョンセミナーⅣ 「認知症高齢者のうつと自殺」

演者 新井哲明(筑波大学医学医療系精神医学)

座長 大山博史(青森県立保健大学健康科学部)

プログラム 9月24日(日) 中会議室202(2階)

9:00～10:30

一般演題V 「リスクファクター」

座長 白川治（近畿大学医学部精神神経科学教室）
堀孝文（茨城県立こころの医療センター）

0V-1 「血液データを用いた自殺企図のリスク評価」

矢口知絵（茨城県立こころの医療センター）

0V-2 「うつ病エピソードおよび自傷・自殺念慮の発症脆弱性因子としての気質性格特性」

三井信幸（北海道大学大学院医学研究科神経病態学分野精神医学教室）

0V-3 「自殺企図後のうつ病患者における気質と安静時脳機能ネットワーク」

石川和宏（日立梅ヶ丘病院）

0V-4 「自殺再企図のリスクファクターの検討」

木本啓太郎（東海大学専門診療学系精神科学）

0V-5 「精神科病棟入院患者の自殺リスク・アセスメントに関する予備的研究」

成田賢治（札幌医科大学医学部神経精神医学講座）

10:30～12:00

一般演題VI 「疫学と調査」

座長 中込四郎（国士舘大学）
米本直裕（京都大学大学院医学研究科）

OVI-1 「自殺の種類は自殺への理解や許容的態度と関連があるか？—大学生への横断的質問調査—」

芝崎恵一（和光大学大学院社会文化総合研究科）

プログラム 9月24日(日) 中会議室202(2階)

OVI-2 「川崎市における自殺未遂者支援構築に向けた新たな取り組み～自損事故救急搬送事例調査～」

高井美智子（埼玉医科大学）

OVI-3 「日本における妊産婦自殺研究の実態」

米本 直裕（京都大学医学研究科）

OVI-4 「対人関係欲求尺度(INQ)と自殺潜在能力尺度(ACSS)の妥当性の検討」

相羽美幸（東洋学園大学人間科学部）

OVI-5 「コロンビア自殺重症度評価尺度(Columbia Suicide Severity Rating Scale; C-SSRS)

日本語版の妥当性・信頼性の検討」

白鳥裕貴（筑波大学医学医療系精神医学）

12:00～13:00 共催:ファイザー株式会社

ランチョンセミナーV 「うつ病発症の脆弱性とレジリエンス」

演者 井上猛（東京医科大学精神医学分野）

座長 市来真彦（東京医科大学精神医学分野）